

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年4月14日 (2011.4.14)

【公表番号】特表2010-527906(P2010-527906A)

【公表日】平成22年8月19日 (2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2009-536266(P2009-536266)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/716	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 L	31/00	(2006.01)
A 6 1 L	29/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/73	(2006.01)
C 1 2 N	5/07	(2010.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
C 0 8 B	37/00	(2006.01)
C 1 2 P	19/04	(2006.01)
C 0 7 K	14/82	(2006.01)
C 0 7 K	14/52	(2006.01)
C 0 7 K	14/005	(2006.01)
C 0 7 K	14/195	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	31/716	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	33/00	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 L	31/00	Z
A 6 1 L	29/00	Z
A 6 1 K	8/73	
C 1 2 N	5/00	E
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/10	
C 0 8 B	37/00	Q
C 0 8 B	37/00	P
C 1 2 P	19/04	B
C 0 7 K	14/82	
C 0 7 K	14/52	
C 0 7 K	14/005	
C 0 7 K	14/195	

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月6日(2010.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

選択的に O - アセチル基が富化され、粒子又は固体担体に結合した - 1 , 6 - グルカンを含む組成物。

【請求項 2】

請求項 1 記載の組成物であって、当該組成物は、標的部分に結合したものである、組成物。

【請求項 3】

選択的に O - アセチル基が富化され、標的部分に結合した - 1 , 6 - グルカンを含む組成物。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の組成物であって、前記 - 1 , 6 - - グルカンは、O - アセチル基が富化されたものである。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の組成物であって、

(a) 前記グルカンは、少なくとも 25 重量 % の O - アセチルグルカンを含むものであるか、

(b) 前記グルカンは、地衣類、真菌、酵母又はイワタケ (Umbilicaria c cae) から単離又は由来するであるか、

(c) 前記グルカンは、遺伝子操作されたもの、化学合成されたもの、又はアセチル化されたものであるか、或いは

(d) さらに、アジュバント、抗原、免疫調節化合物、又はそれらの組み合わせを含むものである

組成物。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の組成物であって、この組成物は、免疫反応を調節するために使用されるものである、組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 つに記載の組成物において、

(a) 前記免疫反応の調節は、前記免疫反応の刺激を含むものであるか、

(b) 前記免疫反応は抗原特異的反応であるか、

(c) 前記組成物はさらに、化学療法化合物又は免疫刺激化合物を含むものであるか、

(d) 前記免疫反応は、補体依存性であるか、

(e) 前記免疫反応は、感染性病原体、癌、前癌病変部、又はそれらの組み合わせに対する反応であるか、或いは

(f) 前記免疫反応の調節は、当該免疫反応の抑制的調節又は無効なものとする工程を含むものである

組成物。

【請求項 8】

請求項 7 記載の組成物において、

(a) 前記感染性病原体は、肺血症を引き起こすものであるか、

(b) 前記感染性病原体は、寄生虫、寄生蠕虫、ウイルス、またはバクテリアであるか

(c) 前記組成物は、さらに、免疫抑制剤を含むものであるか、或いは

(d) 前記免疫応答は、自己抗原、アレルゲン、移植組織又は細胞に対するものである組成物。

【請求項 9】

請求項 1 又は 2 のいずれかの組成物において、当該組成物は、

(a) さらに、アジュバント、抗原、免疫調節化合物、又はそれらの組み合わせを含むものであるか、

(b) 前記粒子は、ミクロスフェア又はナノ粒子であるか、

(c) 前記粒子は、少なくとも 50 重量%の - 1, 6 - グルカンを含むものであるか

、

(d) 前記粒子はグルカンを含み、当該グルカンの少なくとも 50% は - 1, 6 - グルカンであるか、

(e) 前記 - 1, 6 - グルカンは、前記粒子中に均一に分配されているものであるか、或いは、

前記粒子は、好中球、単球、樹状細胞のマクロファージに対して適切な大きさを有するものである、

組成物。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つの組成物において、当該組成物は、対象における癌又は感染を治療、それらの進行を遅延させる、それらの寛解を引き延ばす、或いはそれらの発症率或いは重症度を抑制するために使用されるものである、組成物。

【請求項 11】

請求項 10 記載の組成物において、この組成物は、

(a) さらに、アジュバント、抗原、ペプチド、免疫刺激化合物、化学療法化合物、又はそれらの組み合わせを含むものであるか、

(b) 前記対象は、過形成又は前癌性病変を有するものである

組成物。

【請求項 12】

請求項 11 記載の組成物において、

(a) 前記抗原又はペプチドは、腫瘍関連抗原又は感染源由来の抗原であるか、

(b) 前記免疫刺激化合物は、サイトカインであるか、

(c) 前記標的部分は特に腫瘍関連抗原又は前癌性細胞と相互作用するものであるか、或いは、

(d) 前記化学療法化合物は、抗生物質又は抗ウイルス化合物である

組成物。

【請求項 13】

インビトロにおいて細胞における熱ショックタンパク質の発現を刺激又は促進する方法であって、当該方法は、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つの組成物と、前記細胞とを接触させる工程を含むものである、方法。

【請求項 14】

請求項 13 記載の方法において、

(a) 前記グルカンは粒子に結合しているものであるか、

(b) 前記細胞は抗原提示細胞であるか、

(c) 前記細胞は好中球であるか、或いは、

(d) 前記細胞は感染しているものである

方法。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の組成物であって、当該組成物は、薬学的組成物、食物又は食品、補助食品、又は化粧品組成物である、組成物。

【請求項 16】

請求項 1 3 記載の組成物において、当該組成物は、無処理 - 1 , 6 - グルカンと比べて、反応調節能力が増強されるように処理された - 1 , 6 - グルカンを含むものであるか、或いは、当前記組成物中に含まれるグルカンの少なくとも 5 0 % が - 1 , 6 - グルカンである、組成物。

【請求項 1 7】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の組成物を含むミセル。

【請求項 1 8】

生分解性ポリマー中に請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の組成物を含む組成物であって、前記生分解性ポリマーは、分解されて生物学的に活性なサリチル酸又は - ヒドロキシ酸部分を形成するものである、組成物。

【請求項 1 9】

請求項 1 8 記載の組成物を含む粒子又は医療用具。

【請求項 2 0】

医療用具であって、インプラント又は当該用具の表面の少なくとも一部は、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つの組成物が含むものであるか、或いは前記組成物によって被覆されたものである、医療用具。

【請求項 2 1】

請求項 1 8 記載の医療用具であって、当該医療用具は、カテーテル、ステント、弁、ペースメーカー、中心線、ベッサリー、チューブ、シャント、給餌チューブ、排液管、整形外科用デバイスから選択されるものであるか、或いは前記ポリマーは生分解性である、医療用具。

【請求項 2 2】

被覆物であって、

(a) 基質と、

(b) 前記基質表面の少なくとも一部と物理的に相互作用した請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の組成物であって、当該組成物は選択的にゲル又はフィルムの形態である、組成物と

を含む、被覆物。

【請求項 2 3】

請求項 2 2 記載の被覆物であって、

(a) 前記組成物はポリマーを含むものであるか、

(b) 前記組成物は、生分解性ポリマーを含むものであるか、或いは、

(c) 前記基質は金属、セラミック、又はポリマーの少なくとも一部から成るものである

被覆物。

【請求項 2 4】

請求項 2 または 3 のいずれかに記載の組成物であって、前記標的部分は、抗原、抗原フラグメント、ペプチド、又は小分子である、組成物。

【請求項 2 5】

請求項 2 4 記載の組成物であって、前記標的部分は、腫瘍、抗原、感染細胞、腫瘍性細胞、前癌性細胞、病原菌又はそれらの成分と結合するものである、組成物。